

# ～3月のクラスだより～



ひよこ組

## 【3月の保育のねらい】

- 手伝ってもらいながら衣服の着脱を自分でやってみようとする。
- 保育者と一緒にやりとりをして遊ぶことを楽しむ。



### <やった～できた>

4月に入園してからあっという間に1年が経とうとしています。まだ歩けなかったり、つかまり立ちや伝い歩きをしていた子どもたちも、今ではほとんど歩いたり、走ったり、ハイハイ、膝歩きをして遊んだりしています。友だちとも言葉や身振り、しぐさで思いを伝えようしたり、身の回りのことも“自分でやってみよう”という気持ちが芽生えてきました。

毎日の生活で衣服の着脱や靴の脱ぎ履きを保育者で行ううちに、保育者の声掛けのもとズボンや靴に入れたり脱ごうとしたり、できない時は声を出して主張するようになってきました。「ここに足を入れてごらん」「〇〇してみよう」などと仕方を伝え、子どもたちのやってみようという気持ちを受け止めながら援助しています。まだ月齢の低い子どもたちも保育者と一緒に衣服に手を通してみたり、散歩から帰ると、自分で帽子を取ろうとする姿もあります。

1年を振り返ると子どもたちの成長は早く、出来ることが増えていき驚きと発見の1年でした。これからもひとつずつ丁寧に一緒にいき、子どもたちが「じぶんでやってみよう」と意欲が持てるよう意識しながら子どもたちと関わっていきたいです。



りす組

## 【3月の保育のねらい】

- 新しい部屋で遊び、少しずつ環境に慣れる。
- 保育者に見守られながら、簡単な身の回りのことを自分でやろうとする。



### <もうすぐさぎ組>

去年の春頃から今の子どもたちの姿を振り返ると、本当に心身ともに大きく成長したと感じます。出来ることも増えて今では、いろんな遊びにも“なにに？！やってみよう”と挑戦しようとする姿も見られます。

進級に向けて、少しずつ、新しい環境に慣れるようさぎ組の部屋で遊ぶようになっています。普段入らないさぎ組の部屋に最初はドキドキしていましたが、珍しいおもちゃがあることに気が付くとそのおもちゃに一直線！たくさんのウレタン積み木、キッチン、パズルなどを見て「みて、〇〇があるよ」「これなに？」と全てに興味津々で、保育者や友だちと夢中で遊んでいます。子どもたちにとって、部屋などの環境が変わるということはとても大きいことです。子どもたちが無理なく進級できるように丁寧に関わっていきたいと思います。



うさぎ組

## 【3月の保育のねらい】

- 着脱や排泄など一人でできることが増えた喜びを自信に感じ、進級に向けて期待感が高まる。
- 経験したことや興味のあることを遊びの中で表現し、イメージを共有し楽しむ。



### <朝の集まり>

「そろそろ散歩に行こうよ」「片付けて挨拶するよ」という保育者の声掛けで片付け始める子どもたち。秋頃から散歩前に朝の集まりをするようになりました。

友だちや大人の顔を見られるように座り「おはようございます」と挨拶をしてから一人ずつ名前を呼び、お休みの友だちを確認していきます。その後は子どもたちにこの公園に行きたいか聞いたり、保育者が「今日はこんなことをしたいんだけどどうかな？」と提案してみます。「二丁目公園がいい」など公園の場所を言うだけでなく「薬師公園でかくれんぼしたい」と明確に何をしたいのか伝える子どももいます。「雨だから散歩に行けないね」「もうすぐ雨が降りそうだからお部屋かな」など天気を見ながら考える様子も見られます。日々朝の集まりをすることで、自分の思い、やりたいことを言葉で伝えられるようになってきています。

朝の集まりで自分のやりたい遊びを考え日中の活動に期待を持ち、明るく一日のスタートを切れるような時間にする意識をしています。



ちゅうりっぷ組

## 【3月の保育のねらい】

- 思ったこと、感じたこと、考えたことを話したり、相手の話を聞こうとする。
- 進級することを保育者や友だちと一緒に喜び、期待を持つ。

### <集まりでのお話>

ちゅうりっぷ組では集まりの中で、大切な話や週の予定を話しています。カレンダーに子どもたちが分かるよう、大事な予定はイラストやマークを描いています。「もう少しでクッキー作りだね」「楽しみだね」「次保育園に来る時に〇〇ちゃんのお誕生日だね」などと期待感や見通しをもって生活しています。そして午前中に何をしようか、一人ひとり聞いたり、保育者も提案したりしながらみんなで話し合っています。たくさんのお話があるので、もちろん行きたい公園も意見が分かれるときもあります。そのような時には多数決で決めるのではなく、「〇〇公園はいやだ」という声や少数の意見も大切にしながら、どこであればみんなのしたい遊びができるのか、じっくり話し合います。子どもたちから「薬師公園だと滑り台もあるし、走るところもあるし、虫探しもできるんじゃない？」という提案や「じゃあ今日は薬師公園でもいいから今度平和の森公園に行こうね」と譲ってくれる声も出たりするようになってきました。自分の意見や考えを話したり、友だちや保育者が話している時にはしっかり聞くということを毎日積み重ねながら生活しています。これからもみんなで話し合うことを大切にしながら楽しい遊びをみんなでやっていきたいと思います。



さくら組

## 【3月の保育のねらい】

- 成長を認められながら、進級への期待感を持ってすごす。
- 探索活動や会話を通して、身の回りの春らしさを味わい楽しむ。

### <友だちを気にかける>

さくら組になり、もうすぐ1年が経とうとしています。日々友だちや保育者と関わりながら成長する中で、進級した頃は言葉にするのが難しかった様々な感情も、相手に伝えたり気持ちに折り合いをつけたりすることができるようになってきました。

特に近頃多くみられるのが、“友だちを励ましてあげる”という姿です。園庭で、鬼ごっこをしている時に、誰かが転んでしまうと、すぐに駆け寄って、「大丈夫？」と声をかけてくれたり、「〇〇さんに言うからね！」と大人に伝えてくれたり、「〇〇ちゃん転んじゃったからタッチしないでー！」と鬼ごっこを一緒にしている友だちに伝えたり…。周りの様子によく意識が向くようになってきた今の子どもたちならではの、素敵な姿です。生活や集団遊びの中では、「〇〇くんが△△って言ってた！」「〇〇ちゃんが□□をやってなかった！」という、きびしい報告や意見も聞かれますが、こういう面も成長していく過程の一部です。「じゃあ、どうしてほしかったのか伝えようかいいかね？」等と、保育者は仲介者となって話をしています。

4月には憧れのもみじ組に進級します。「もみじさんになるから…」という言葉は前向きに遣い、期待感を持って3月をすごすことができるようにしていきたいです。



もみじ組

## 【3月の保育のねらい】

- 就学への期待をふくらませ、安定した気持ちで生活する。
- 身近な人に感謝の気持ちをもって関わる。

### <最後までたのしく！>

早いものでもみじ組最後の月になりました。

ランドセルが手元に届いた子どもも多く、小学校への期待が膨らんでいます。期待だけでなく、中にはちょっぴり不安を感じている子どももいます。そんな中先月、令和小学校へ学校見学に行きました。授業の様子や図書室を見たり、卒園児や兄弟に会ったり、校内を見て回ることができたので、期待感に繋がる良い機会になりました。

今年はさまざまな行事ができるようになり、子どもたちと話し合う時間をたくさん設け、一人ひとりの思いを話したり、聞き合いました。特に運動会、成長を祝う会は、上手になりたいという思いから、諦めず友だちを誘いながらたくさん練習をしていました。本番では、緊張しながらも自分がやりたいことが発表でき、自信がついたと感じています。

保育園生活も最後。子どもたちとやりたいことをたくさん出し合い、最後まで楽しめるようにしていきたいです。

